

広 報

# こうさ



【表紙】 第41回熊本甲佐10マイル公認ロードレース大会

## 冬の甲佐路を駆け抜けるアスリート

CONTENTS

- 02・巻頭特集 新年あいさつ
- 06・特集 甲佐町震災復興計画を策定しました
- 10・こうさの話題 12月4日(日)～10日(土) 甲佐町人権週間
- 13・町からのお知らせ 一部損壊世帯への災害義援金配分について
- 24・Kosa Style フランス料理人・吉富 力良さん(和田内区)

No.570  
January 2017



# 将来を見据えた復興創生による 次世代へ残す輝くまちづくり

町民の皆様、あけましておめでとうございませう。

日ごろからの町政全般に対する温かいご理解と絶大なるご協力に厚くお礼申し上げます。

昨年は、4月14日から発生した熊本地震が、本町にも未曾有の被害をもたらしました。

余震の回数は4,000回を超え、住家では半数以上となる約2,500棟が被害に見舞われ、農地をはじめとする産業基盤や交通インフラ、学校などの公共施設においても大きく損傷するなど、全国でも過去に例を見ない規模の震災の傷跡は大きなものとなりました。

町としては、町民の皆様が一刻も早く安全・安心に暮らす環境を復旧・復興できることを目指して、り災証明書発行に向けた家屋被害調査をいち早く実施し、

続く応急仮設住宅建設および家屋解体などに県下で最初に着手いたしました。

また、り災証明書発行を円滑に開始し、震災復興住宅の建設計画にも着手するなど、迅速に震災関連業務を執り行いました。今後も優先課題と捉えて、総力を挙げて迅速かつ強力で震災対策を講じていくこととしています。

今回の震災対策については、私がマニフェストで掲げた「再生から創生へ・次世代へ残す輝く郷づくり」を正に基本とし、単なる復旧としての「再生」にはとどまらず、将来を見据え更なる本町の発展を目指した復興対策としての「創生」を同時に講じていくことが重要と考えております。

その対策指針として、昨年11月に県内で先駆けて、「将来（みらい）を想い・魅力（たから）を活かす・ともに紡ぐ」次世代への架け橋」を基本理念に掲げた



甲佐町長 奥名 克美

「町震災復興計画」を策定しました。本町の早期復旧・復興を図っていくために、この計画を町民の皆様と共有し、協働によるまちづくりを推進して参ります。

今後、町民と行政が今日までの苦難を共に乗り越え培われてきた絆と、町外の方から頂いた支援に感謝しつつ、町民の皆様から寄せられた大きな期待に応えるためにも町職員と一丸となり、共に汗を流して、創生を見据えた復興によ

り「甲佐町に住んで良かった」と誇りと愛着を持って心から口にしていただけ、まちづくりを、強い信念とあふれる情熱で実現して参ります。

終わりに、町民の皆様、また議会の皆様には、本年も変わらぬご指導とご支援の程をよろしくお願い申し上げます。とにも、町民の皆様にとりまして輝かしい1年となることを祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

# 活力あふれる 強く元気な まちに向けて

甲佐町議会議長  
緒方 哲哉

町民の皆様、明けましておめでとうございませう。甲佐町議会を代表し謹んで新春のご挨拶を申し上げます。皆様方には、新たな期待と希望をもって輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年、熊本地震並びに豪雨災害により多数の家屋などが被災し、大規模な土砂崩れなどにより町内の広い範囲にわたる農地や道路、河川などに甚大な被害をもたらされ、被災された皆様は災害復旧に努める日々だったと思われませう。

お亡くなりになられた方や被災された町民の皆様にも改めて、心からの御悔やみとお見舞いを申し上げます。今後も厳しい状況ではありますが、本町議会では、一日も早い住民の生活安定と地域の復旧・復興のため、町執行部とともに全力を尽くし取り組んで参ります。



本町において基幹産業である農業は、長引く景気低迷、後継者問題さらに震災による被害も重なり極めて厳しい状況であり、また商店街の疲弊など商工業もさなる危機を迎えていると感じています。このような中、町震災復興計画の施策も推進しながら、農業を中心とした産業の振興や緑川を活かした環境政策、子育て世代に優しい政策、教育政策の充実による甲佐の魅力を活かした定住政策などの取り組みを進めていく必要があると考えております。町議会としましては、町執行部とともに震災復興計画にもあります「活力あふれる強く元気なまち」に向けて全力で取り組み、議会運営については、町民の皆様の負託にこたえられるよう新たな気持ちをもって取り組んで参りますので、今後とも、ご指導並びにご支援をよろしくお願いいたします。町民の皆様にとりまして、災害からの復興に向け、さらなる実り多き年でありますことをご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

# 教育の復興と 更なる未来へ

甲佐町教育長  
蔵田 勇治

明けまして、おめでとうございませう。謹んで新年の御挨拶を申し上げます。学校教育、社会教育、生涯体育・スポーツ活動、芸術文化の振興など本町教育行政に温かい御理解と御支援、御協力を頂いておりますことに感謝申し上げます。さて、振り返りますと昨年は1月の大雪と寒波、4月から続いた熊本地震、6月の豪雨と本町は今まで経験したことのない自然災害に見舞われました。被災された皆様に改めて心からのお見舞いを申し上げますと共に、一日も早く安息の日が戻りますことをお祈り申し上げます。昨年の大災害は、学校教育施設や社会教育施設、町内の文化財等々に甚大な被害をもたらされ、教育活動の推進にも少なからぬ支障を生じさせました。また、あの恐怖や過酷な経験は私たちの心にいまだ癒しきれない記憶として残っています。



子どもたちの幼い心の震えに思いを馳せると、胸が締め付けられる思いがいたします。「町震災復興計画」には教育施設の迅速な復旧と教育・文化活動の再開と共に、災害の経験に深く学び、経験を生かした防災・減災教育を充実させていく事が謳われています。また、子どもたちの心のケアにもしっかりと取り組んでいかねばなりません。今、学校教育では「地域と共にある学校」が強く押し進められ、学校、保護者、地域の人々が子どもたちの育ちを共に支える「協働」が求められています。この「協働」は住みよい地域づくりにも繋がるものです。町民の皆さんが、地域の子どもたちを見守り育む「協働」にお力添えをいただければ幸いです。年頭にあたり、町民の皆様と共に本町の教育の更なる充実に取り組んでいく決意を述べさせていただきますと共に、今年が皆様にとって幸多き年になりますことを祈念申し上げ、新年の御挨拶といたします。

# 災害のつめ跡を後世に残し、復興へ

## 熊本地震等の記録と災害復興への歩み①

平成28年4月14日（木）、震度5を超えた熊本地震、6月20日（月）深夜には、時間雨量150mmの九州豪雨災害が本町を襲いました。

これらの災害は、本町の各所に甚大な被害をもたらすとともに、今後の防災対策のあり方やまちづくりに対する課題と教訓を与えました。

今回の災害の経験を踏まえて、災害の状況と被害の実態を把握し、未曾有の災害に対して町や住民、組織がどのように対処したかを検証する必要があります。そのため、震災記録に関する連載を開始します。今月号では、2つの災害の概要および本町の被害状況などをまとめました。



### ■被災状況

- 家屋被害（平成28年11月30日現在）
  - 全壊140棟、大規模半壊228棟、半壊831棟、一部損壊1,336棟、床上浸水51棟、床下浸水194棟
- 人的被害（平成28年11月30日現在）
  - 地震関係死者1人、豪雨災害関係死者1人、行方不明者0人、重傷者16人、軽傷者2人
- ※ 重傷者、軽傷者については、すべて熊本地震関係
- 避難所および避難者数（ピーク時（4月17日（日）））
  - ・ 避難所数 12カ所
  - ・ 避難者数 1,824人
- ※ 避難者数は、避難所に避難していた人数のみで車中泊などは含まない。
- 公共施設等被害（平成28年12月末現在）
  - 町道197カ所（被害箇所総延長1万2,599m）、河川48カ所（被害箇所総延長2,433m）、橋りょう1カ所（被害箇所総延長21m）、農道563カ所、水路558カ所、ため池38カ所、店舗・工場など180件、町上水道施設・送水管1カ所損傷、配水管（本管）22カ所破損、給水管（引込管）66カ所破損、受水槽1カ所損傷、配水場の側溝・舗装破損
  - ・ 学校教育施設
    - 5カ所（町内全小・中学校）
    - ・ 社会教育施設
      - 41カ所（自治公民館、キャンプ場、白旗グラウンドなど）
      - ・ 福祉施設
        - 4カ所（老人いこいの家、龍野福祉ふれあいセンター、乙女福祉ふれあいセンター、白旗福祉ふれあいセンター）
  - ライフライン

### 熊本地震および豪雨災害の概要について

4月に発生した熊本地震および6月に見舞われた九州豪雨災害の概要についてまとめました。

#### ■熊本地震・前震

- 平成28年4月14日（木）午後9時26分発生
- ・ 震源地 北緯32・7度、東経130・8度
- ・ 規模 マグニチュード6.5
- ・ 最大震度 震度7（甲佐町震度5弱）
- 平成28年4月15日（金）午前0時3分
- ・ 震源地 北緯32・0度、東経130・0度（甲佐町大字田口付近）
- ・ 規模 マグニチュード6.4
- ・ 最大震度 震度6強（甲佐町震度5弱）



#### ■熊本地震・本震

- 平成28年4月16日（土）午前1時25分

## 災害の試練と教訓を次世代へ伝えるために

平成28年4月14日（木）から発生した「平成28年熊本地震」、とりわけ、4月15日（金）午前0時3分発生の本町を震源地とする最大震度6強の地震は、本町の多くの家屋や施設に甚大な被害をもたらしました。

住家では、町内の半数以上の約2,500世帯が被害に見舞われ、発災直後は多くの町民が避難所や車中での生活を余儀なくされました。

また、農地をはじめとする産業基盤や交通インフラ、学校などの公共施設においても大きなダメージを受け、町民の生活に多大な支障をきたしました。

ここに示すものは、本町の被災状況や災害への対応状況などです。

私たちは、今回の災害をただ単に記憶としてとどめるだけでなく、被災状況や対応状況などを収集・整理し、災害から受けた試練と教訓を記録として残し、次の世代に伝えていかなければなりません。



町くらし安全推進室  
清水 明 室長

### ● 災害当時の情報や写真を収集しています

町では、災害記録誌に掲載する情報や写真を収集しています。災害の様子や資料などをお持ちの方は、町くらし安全推進室までご連絡ください。

#### ▼ お問い合わせ先

町くらし安全推進室

☎ 096・234・1167

(内線241)

### ● 上水道

配水管および給水管の破損が多発し、漏水により乙女地区を中心に約700戸（全給水戸数の約20割）が断水。

前震翌日からの復旧作業により、断水戸数は4月21日（木）に約300戸に減少。同27日（水）全面復旧。

### ● 電気

4月14日（木）の前震で、町内800戸が停電。同15日（金）午後1時に復旧。同16日（土）の本震で町内2,600戸が停電。同17日（日）午後8時に復旧。

### ● 交通

・ 町営バス  
4月15日（金）に地震の影響により全面運休。同21日（木）に一部再開。宮内方面については発電所折り返し運行。6月21日（火）に大雨の影響により全面運休。同28日（火）龍野方面のみ再開。7月2日（土）一部再開。宮

内方面発電所折り返し。11月1日（火）一部再開。宮内方面打出折り返し運行。

### ■ 解体業務および災害ごみ

● 損壊家屋等解体業務  
・ 受付棟数（5月16日〔月〕～11月30日〔水〕）890棟（住家366棟、非住家524棟）

### ● 災害ごみ

4月15日（金）から中甲橋グリーンパークで受け入れを開始し、翌16日（土）から仮置場を町内5カ所開設。

### ● 生活系ごみ

御船町甲佐町クリーンセンターが震災で被災。他の処理場の協力を受けて通常どおり収集。

### ● し尿くみ取り

環境クリーンセンター周辺道路の被災で、地震発生後1週間受入れ不能。

### ■ 支援関係

### ● 震災総合窓口の設置

4月21日（木）町生涯学習センター研修室に設置。5月10日（火）から仮設プレハブと各課に支援窓口を設置。

### ● 罹災証明発行件数（住家のみ）

全壊112件、大規模半壊221件、半壊792件、一部損壊858件、合計1,987件（平成28年11月30日現在）

### ● 応急修理申請件数

443件（平成28年11月30日現在）

### ● 仮設住宅入居世帯

228世帯

### ● みなし仮設住宅申請件数

35件（平成28年11月30日現在）

### ● 生活再建支援金申請受付件数

409件（平成28年11月30日現在）

### ● 義援金（平成28年11月30日現在）

町への義援金総額

22,837,487円

県からの義援金配分総額

496,600,000円



### ■ 九州豪雨災害

・ 震源地 北緯32・8度、東経130・8度  
・ 規模 マグニチュード7・3  
・ 最大震度 震度7（甲佐町震度5強）  
・ 発生日時 平成28年6月20日（月）午後11時19分～21日（火）午前0時19分  
・ 時間雨量 150㎜（観測史上4位）

### 基本目標2 町民生活の再建と復興

#### ①道路・公共交通の充実

■幹線道路・生活道路および橋りょうの計画的な復旧・整備、仮設住宅入居者の公共交通利便性向上や生活環境のサポート

●災害復旧事業と関連事業を併せた機能強化および迂回道路網の整備

#### ②住宅・住環境の整備

■現行制度を活用した宅地被害などの復旧整備、一部損壊家屋への支援拡大要望、宅地液化化防止事業を活用した液化化地盤への調査・対策、町営住宅の補修など、解体・撤去および応急修理など被災家屋の復旧支援、アンケート調査などによる意向を踏まえた復興住宅の早期整備

●耐震補助制度の拡充の検討、若い世代や子育て世代への支援住宅の検討、空き家や危険家屋について物件調査などを行い解体・撤去などの推進、災害時飲料水を想定した災害用井戸の活用検討

#### ③上水道・生活排水の整備

■ライフラインである上水道の早期復旧、合併浄化槽の設置補助基準の緩和

●災害を想定した上水道の安定供給のための耐震化や老朽管更新

#### ④防災・消防・防犯の推進

■砂防えん堤の設置要望および河川しゅんせつ、河川護岸などの災害復旧

●自主防災組織の設立や防災教育・防災訓練の実施など災害対応体制づくり、発災直後の物資保管・供給などへの対応、防災行政無線以外の独自のメールシステム構築など被害状況の正確な情報提供手段の検討、地域防災計画の見直しや災害対応マニュアルなどの充実、区長や消防団との情報共有や連絡体制

の確立および防犯パトロールの強化、避難所への防犯灯設置や警察など関係機関との連携による防犯対策、堤防等河川改修や内水対策の検討

#### ⑤健康・福祉の充実

■閉じこもりや生活不活発予防のための高齢者の生きがいつくり、地区サロンなどによる高齢者のストレスなどへの対応、ひとり暮らしや高齢者世帯の見守りなど地域での支え合い体制づくり、ニーズ調査を踏まえた仮設住宅入居高齢者などへの生活支援、実態調査などに基づく高齢者や障がい者に対応した避難体制づくり、各種福祉事業による障がい者世帯への生活再建支援

●地域支え合いセンターを拠点とした地域での支え合いの体制づくり、医療・介護・福祉費用増大への対応、介護サービスの充実および介護保険サービスの適正化の推進、PTSDや予防医学などを念頭においた健康づくりの推進、サークルやサロン活動など高齢者の生きがいつくり、相談支援や各種サービスなどを通じた障がい者の自立支援、生活相談体制の整備、乙女福祉ふれあいセンターの再建

#### ⑥生涯学習などの充実

■文化財、未指定文化財、町管理の社会教育施設などの復旧促進および自治公民館への復旧支援

●住民の意向や要望を踏まえた文化、芸術、スポーツ施設などの整備・活用の検討

#### ⑦コミュニティの再生・情報基盤の充実

■地域支え合いセンターの活動によるコミュニティの再生、各行政区（嘱託員）と町の連携体制の充実による情報手段の整備や情報の共有化

●コミュニティの維持、継続および若者の発想力や地域力を生かしたまちづくりの検討、被害状況、気象情報、避難情報など、関連情報提供の拡充整備

### 基本目標3 定住促進と教育・子育ての推進

#### ①移住・定住施策の充実

■復興住宅の早期建設などによる被災者の町外への流出防止

●ベッドタウン化を目指した住宅分譲地などの整備、子育て世代にやさしい子どもたちが住み続けたいと思う住環境の整備

#### ②学校教育の充実

■子どもの心のケアのサポート体制の整備など、各学校施設の復旧を含む学校施設の整備、各学校での

災害対応マニュアルの見直しおよび防災教育の充実、各学校での災害を想定した防災訓練の実施

●地域と学校の協働による子どもの学習の場の充実検討、通学路の復旧・整備など安全・安心な学校づくり

#### ③子ども・子育て支援の推進

■子育て世帯への生活支援、子育て世帯のいこいの場や子育てしやすい環境づくりの推進

●子育てと仕事の両立支援、妊婦、乳幼児のいる世帯への支援

※復旧に関する目標…■、復興に関する目標…●

「甲佐町震災復興計画」（全体）は、町企画課窓口にて配布しています。同計画（概要版）については、昨年12月月末に全世帯に配布しています。また、町公式ウェブサイトでも閲覧できます。

■「甲佐町震災復興計画」についてのお問い合わせ先

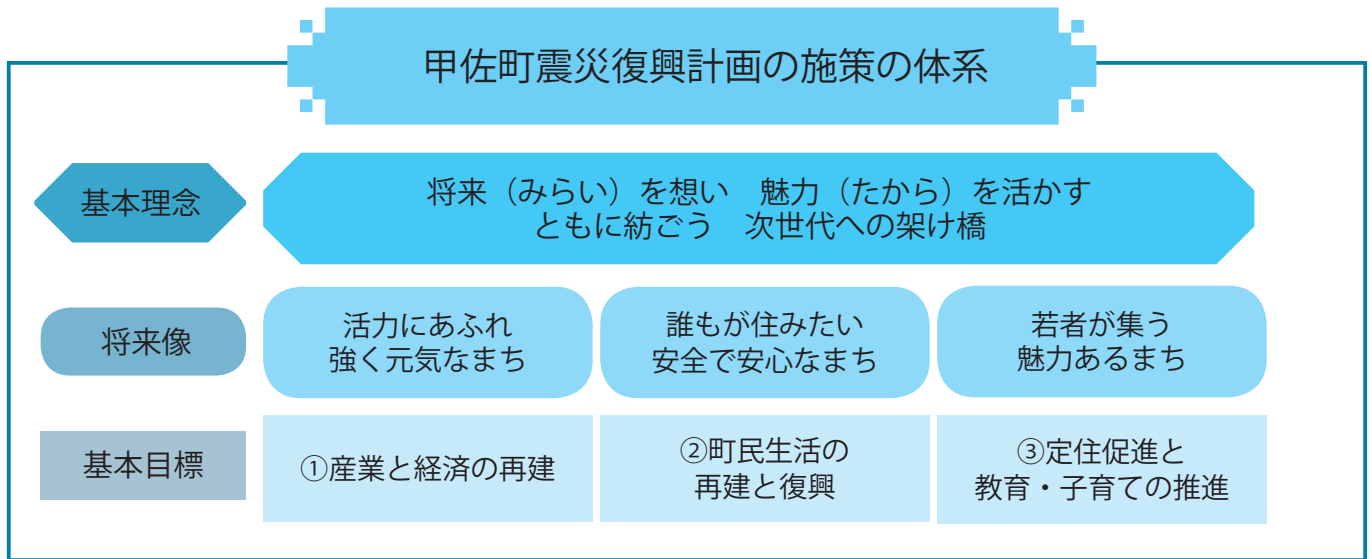
- ・町企画課 ☎096 - 234 - 1154（内線231）
- ・町公式ウェブサイト URL <http://www.town.kosa.kumamoto.jp/>

# 将来（みらい）を想い 魅力（たから）を活かす

町では、平成28年熊本地震からの復旧・復興に向けて、平成28年11月29日（火）に「甲佐町震災復興計画」を策定しました。

本計画は、災害後の本町の被害の状況を踏まえた上で、町民誰もが、復旧・復興の姿がイメージできる計画づくりを目的として策定したものです。

今後、町では、本計画の基本理念を基に、町民との協働による復旧・復興のまちづくりを推進していきます。



平成28年4月14日（木）から発生した熊本地震は、本町に甚大な被害をもたらし、発災直後、町民の大多数の方々が避難所や車中での避難生活を余儀なくされる状態でした。

本町では、行政のみならず町民との協働による迅速かつ懸命な震災対応を行い、被災者の生活再建に向けた支援のステップまで到達することができました。

今後は、被災者および町民が一刻も早く安全・安心に暮らすことができる環境づくりへの加速化が求められる状況です。被災者の生活再建支援と併せて、次の

ステップとして将来にわたって安全・安心な生活環境を確保し、より良い甲佐町を築くための復興対策を同時に講じていくことが重要と考えます。

このようなことから、復興指針に掲げた「町民の生活再生・都市基盤の復旧」「産業再生」「安全・安心に暮らせるまちづくり」「応急対策の継続方針」に基づき、「復旧対策」「復興対策」の考え方を基に計画を示し、その実現に向け町の総力を挙げ迅速かつ強力に推進していくこととします。

## 基本目標1 産業と経済の再建

### ①農林業の振興

■農地・農業用施設および林道の早期着工・早期復旧、施設・設備への支援による農業経営体の早期復旧、特例措置も念頭に置いた農地転用許可の緩和要請

●耕作地の集約推進による大規模農業化支援等、農産物のブランド化、特産化による特色ある農産物づくり、畑地のほ場整備など、乙女台地の開発、県・JAなどと連携した農家への栽培指導や特産品のPR、農地を活用したイベント開催による地域活性化策の検討

### ②商工業の振興

■被災企業に対する施設・設備の復旧支援、空き店舗の利活用など、商店街の復旧、地元商工業者PRの場の確保や広報紙・インターネット・SNSなどの情報発信手段を通じた地元購買力の向上

●アクセス道路整備などによる工業団地整備、地元商業の収益の向上を見据えたプレミアム商品券発行の検討、事業者の意向を踏まえた空き地・空き店舗の活用など、商店街の活性化

### ③観光の振興

■風評被害払拭のための多様な情報手段を活用した入込客（交流人口）回復のための観光地としてのPRなど

●観光ルートおよびサインの整備による観光資源の再生、民間活力による通年型観光施設の整備

### ④雇用・就業の促進

■町民などの就業確保のための企業、個人事業主への情報提供

●求人情報などについてホームページなどを活用した働く場の確保

一般の部は神野、国際の部はカレミ・ズクに栄冠

11月27日(日)第41回熊本甲佐10マイル公認ロードレース大会が開催されました。

町、熊本陸上競技協会、熊本日日新聞社、熊本バス株式会社主催。町役場前を発着点とする日本陸連公認コースで実施。5部門に520競技者がエントリーして熱戦を繰り広げました。10マイルの部スタート時の天候は雨、気温13・5度、東北東の風0・6m/s。

10マイル一般競技者の部は、神野大地(コニカミノルタ)が序盤からレースを引っ張って見事優勝を飾り、国際競技者の部は、カレミ・ズク(トヨタ自動車九州)が残り5kmで抜け出し2連覇達成。高校男子10kmの部は、大会日本人記録を更新した西田壮志(九州学院)、中学男子5kmの部は東原愛斗(宇土鶴城)、女子5kmの部は池田絵里香(肥後銀行)が優勝しました。

新人賞は一般の部優勝の神野が受賞し、敢闘賞は同7位の塩尻和也(順天堂大)と高校男子の部優勝の西田が獲得。女子敢闘賞は中学1・3位に与えられ、栗原泉(湯前)、畑中美希(出水)、尾方唯莉



駆けぬける風

第41回熊本甲佐10マイル公認ロードレース大会

11月27日(日)町役場発着・日本陸連公認コース



◆ 第41回熊本甲佐10マイル公認ロードレース大会

(相良) が受賞。本町出身者が対象の地元競技者賞は、中学男子の部の高崎蓮斗(甲佐・糸田区)、高校男子の部の上田真路(熊本工・上田口区)が選ばれました。

◆ 大会結果

◆ 10マイル一般競技者の部

- ① 神野大地 (コニカミノルタ) 46分38秒
  - ② 今井正人 (トヨタ自動車九州) 46分46秒
  - ③ 木滑良 (MHP S) 46分47秒
- 出場者141人

◆ 10マイル国際競技者の部

- ① カレミ・スク (トヨタ自動車九州) 46分19秒
  - ② エドワード・ワウエル (NTN) 46分44秒
  - ③ エルビス・キプコエチ (トヨタ紡織) 48分10秒
- 出場者3人

◆ 高校男子10<sup>キロ</sup>の部

- ① 西田壮志 (九州学院) 29分34秒
  - ② 松本瞬 (同) 30分36秒
  - ③ 倉岡輝 (熊本工) 30分53秒
- 出場者73人

◆ 中学男子5<sup>キロ</sup>の部

- ① 東原愛斗 (宇土鶴城) 15分55秒
  - ② 内田征治 (同) 15分58秒
  - ③ 坂口優真 (同) 15分59秒
- 出場者96人

◆ 女子5<sup>キロ</sup>の部

- ① 池田絵里香 (肥後銀行) 16分25秒
  - ② 福田妃加里 (同) 16分28秒
  - ③ 久保愛結美 (鹿児島銀行) 16分34秒
- 出場者71人



◆ 写真右・熊本甲佐10マイル公認ロードレース大会のスタート直後。10マイル一般競技者の部と国際競技者の部は同時スタート  
 ◆ 写真左上・2<sup>キロ</sup>地点での女子の部  
 ◆ 写真左中・高校男子の部10<sup>キロ</sup>の部の2<sup>キロ</sup>地点  
 ◆ 写真左下・各部門の優勝者(前列左から中学、高校、一般、国際、女子)と各賞受賞者(後列左から地元競技者賞、敢闘賞、女子敢闘賞)



▼ピアノの演奏を交えながら自分の体験などを講演する月足さおりさん



## 人権への意識を高めよう

12月4日（日）～10日（土）甲佐町人権週間

12月4日（日）～10日（土）、平成28年度甲佐町「人権週間」が実施されました。同週間は、甲佐町「人権週間」実行委員会（豊永康法会長）、町、町教育委員会が主催。同和問題などのあらゆる人権問題の解決や基本的人権の尊重、町民の人権意識の普及と高揚を目的に、毎年実施しています。

期間中は、特設人権（法律）相談の開設、街頭や企業訪問における人権啓発広報活動の実施、書道など人権作品の展示などを実施しました。同週間のメイン行事として、

12月10日（土）町生涯学習センターで、第34回甲佐町「人権週間」町民集會を開催。約170人が参加し、町内の児童・生徒による人権作文や体験活動の発表などが行われました。人権講演会では、講師の月足さおりさんが「いのちの音色を響かせたい」という演題でピアノの演奏を交えて講演。集會の後には街頭パレードも行って、人権意識を高めました。

## 歌舞伎を体験して元気に

劇団「前進座」による歌舞伎公開稽古

12月7日（水）町生涯学習センターで、劇団「前進座」による歌舞伎の公開稽古（けいこ）が行われました。

町教育委員会が主催。熊本地震で被災した本町を元気付けるために九州で巡演中の「前進座」がボランティアで稽古を公開し、約100人が参加しました。公開稽古では、同劇団員による歌舞伎の立ち回りや見得などの演技法の説明や、来場者に見得の切り方や演技を体験させるワークショップなども行われ、会場は笑顔に包まれました。



▲劇団「前進座」の団員が歌舞伎の演技法をレクチャー



▲消防ポンプ車で巡回する船津区自主防災会

## 自主防災組織で安全安心を

船津区で夜間警戒パトロールを実施

11月19日（土）船津区自主防災会（安達満雄区長）は消防団と連携し、区内の夜間パトロールを実施しました。

パトロールは、仮設住宅に入居し不在となった民家の防犯対策や農作物や花木の盗難被害などを防ぐために実施。区民のボランティアによる7人の6班交代でパトロールに取り組みました。また、同日から毎週土曜日午後9時に消防ポンプ車での警戒を開始し、年末の消防団の活動へと引き継ぎました。

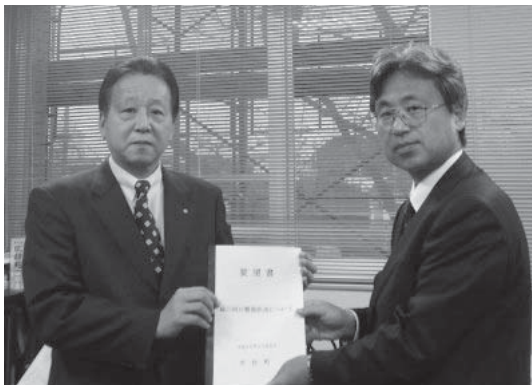
安達区長は「盗難以外の犯罪の抑止力にもなります。住民の皆さんの安全・安心のため、自主防災組織で取り組みを続けていきたいです」と話しました。

## より良い環境を目指す

### 国土交通省熊本河川国道事務所に要望活動

12月7日（水）、町は、一級河川「緑川」を管理している国土交通省熊本河川国道事務所に対して要望活動を行いました。

同事務所で奥名克美町長から森田事務所長へ要望書を手渡し、要望内容を説明。未完成堤防の早期築堤、河川のしゅんせつおよび樹木伐採、内水対策、樋管ゲートおよび排水ポンプ設置、かわまちづくり支援事業早期完成および防災施設整備などを要望し、今後、町では、同事務所と連携して緑川のより良い環境整備に取り組んでいきます。



▲森田事務所長（写真右）へ要望書を手渡す奥名町長



▲仮設住宅入居者へ手作りの米を手渡す児童

## 手作りの米と花で励まし

### 白旗小児童が仮設住宅入居者へ贈呈

12月15日（木）白旗仮設団地で、白旗小学校（岩下勇治校長 103人）の5・6年生による団地入居者への米と花の贈呈式が行われました。

この取り組みは、同小の災害復興プロジェクトの一環で、被災者を励まし元気になってもらうことを目的として実施。JA上益城などの協力の下、児童たちが収穫した米を1戸ずつ手渡し、種から育てたパンジーやビオラをプランターに植えて贈呈しました。

贈呈を受けた入居者は「日課の散歩で、花を眺めるのが楽しみです」と話しました。

## チームでたすきと絆をつなぐ

### 町駅伝競走大会・地区対抗駅伝大会



▲町生涯学習センター前を発着とする地区対抗駅伝大会6区間4.8kmで、勢いよくかけ出す1区走者のスタート

12月18日（日）第46回町駅伝競走大会と第42回地区対抗駅伝大会が開催されました。

同大会は、長距離競技者の育成と町民の健康維持や運動能力向上を図ることを目的に、町教育委員会、甲佐町体育協会、甲佐町陸上競技協会が主催。町駅伝競走大会には、町生涯学習センター前を発着点とする5区間7.2kmのコースに5部門全31チームが出場。地区対抗駅伝大会6区間4.8kmは、全11チームが出場し、冬の甲佐路を元気よく走り抜けました。

#### 【町駅伝競走大会優勝チーム】

高校・一般男子の部・甲佐高校野球部 A 24分32秒、  
 中学男子の部・服部組 24分12秒、高校・一般男女混合の部・上益城農業協同組合 A 31分42秒、  
 小学男子の部・Son's 甲佐イエロー 27分18秒、小学女子の部・龍野ドラゴンズ B 32分36秒

#### 【地区対抗駅伝大会結果】

①甲佐 4チーム 17分17秒、②竜野 1チーム 17分39秒、③白旗 3チーム 18分02秒

国民年金

へ 国民年金 皆さんの皆 成人の 20歳から



国民年金は生涯にわたって保障されます

た場合に受け取れる障害年金や、加入者が死亡した場合、その加入者により生計を維持されていた遺族（子のある配偶者や子）が受け取れる遺族年金があります。

■国民保険料免除・猶予制度

保険料の納付が経済的に困難な場合、保険料の納付が「免除」または「猶予」される制度があります。また、学生の人は一般的に所得が少ないため、本人の所得が一定額以下の場合、保険料の納付が猶予される学生納付特例制度があります。

■国民年金は期限までに納めましょう

国民年金保険料を未納のままにしておくと、将来やいざというときに年金が受け取れないことがありますので、保険料は必ず期限までに納めましょう。

国民年金のご相談・手続きについては、町住民生活課または熊本東年金事務所にお問い合わせください。

▼お問い合わせ先  
町住民生活課

☎096・234・1113

(内線104)

・熊本東年金事務所

☎096・367・8144

■年金の給付は3種類  
国民年金には、65歳以降、生涯にわたり受け取れる老齢年金のほか、病気や事故で障がいが残った

■国民年金は支払いの制度

国民年金は、年を取ったときやいざというときの生活を、現役世代のみんなで支えようという考えで作られた仕組みです。

具体的には、20歳から60歳までの人が加入し国民年金保険料を納め続けることで、年を取ったときや病気やけがで障害が残ったとき、家族の働き手が亡くなったときに、年金を受け取ることができ

ます。国が責任を持って運営するため安定していますし、年金の給付は生涯にわたって保障されます。

国民健康保険

■国保税が国保を支えています

国民健康保険（国保）は、加入者の皆さんが国民健康保険税を出し合い、病気やけがをしたときに備える仕組みです。そのおかげで、わたしたちは医療費の一部を負担するだけで医療を受けることができています。

もし、国保がなかったら医療費は全額自己負担になります。国保制度を支える貴重な財源である国保税を納めないはこの仕組みが成り立たなくなってしまうです。

■国保の加入・脱退は忘れずに届け出ましょう

国保税は、加入の届け日からではなく、国保加入の資格を得た日から課税され、国保を辞める月の前月まで計算されます

国民健康保険税が国保を支えています



国民健康保険CMキャラクターの稲村亜美さん

加入の届け出が遅れたり、ほかの保険に加入したのに国保を辞める届け出をしないままだと、保険料と国保税を二重に支払ってしまうこととなります。

■国保税を滞納すると

高額な医療費を負担する前に限度認定を受けていれば、医療費の自己負担は限度額までで済みません。しかし、国保税を滞納していると限度額認定を受けられない場合があります、その場合は高額な医療費をいったん窓口で負担しなければなりません。

さらに、滞納が続くと通常の被保険者証より有効期限が短い「短期被保険者証」や被保険者証の代わりとなる「資格証明書」が交付される場合があります。この「資格証明書」は、国保の被保険者であることを証明するものではありませんが、医療費はいったん全額自己負担となります。

■納付には口座振替が便利

皆さんの支払いで成り立っている国保の健全な運営のために、国保税は納期限までに納めましょう。

納付には、便利で安心、確実な口座振替がおすすめです。

町住民生活課 ☎096-234-1113(内線 104)

町住民生活課 ☎096-234-1113(内線 106)

## 災害義援金

### 一部損壊世帯に対する義援金配分申請を受け付けています

町では、平成28年11月に開催された県の平成28年熊本地震災害義援金配分委員会において配分が決定された「一部損壊世帯に対する義援金」について、配分申請を受け付けています。

#### ● 義援金の配分基準と基準額

平成28年熊本地震により被害を受けた住家が「一部損壊」の判定を受け、被災住宅の修理に100万円以上支出した世帯に対して10万円を配分します。

※対象となる範囲は、日常生活に欠くことのできない部分の修理であり、内装や外構のみの工事、家電製品の修理などは除きます。

※対象箇所・部分であっても、壊れていない場合の取り換えやリフォーム、グレードアップは対象となりません。

#### ● 申請受付日時

開庁日（月～金曜日）午前8時30分～午後5時

#### ● 申請受け付け期限

平成30年3月30日（金）

#### ● 申請受け付け窓口

町住民生活課

#### ● 申請に必要なもの

- ・ 義援金申請書（町住民生活課窓口での受け取りまたは町公式ウェブサイトでダウンロードできます）
  - ・ 罹災（りさい）証明書（住家被害が「一部損壊」と判定されたもの）
  - ・ 修理領収書
  - ・ 修理工事の内容が分かる書類（工事内訳書、工事情細書、見積書など）
  - ・ 申請者名義の預金通帳の写し
  - ・ 申請者の印かん
  - ・ 申請者の身分証明書（運転免許証や健康保険証など）
- ※義援金の申請者は、原則、世帯主となります。
- 不明な点は、町住民生活課へお問い合わせください。

#### ▼ お問い合わせ先

町住民生活課

☎ 096-234-1113

（内線107）

町公式ウェブサイト

URL <http://www.town.kosa.kumamoto.jp>

町住民生活課 ☎ 096-234-1113（内線 107）

## 男女共同参画

### 男女共同参画啓発イベントを山都町で開催

平成28年12月4日（日）、山都町の千寿苑で、上益城郡内5町による啓発イベント「男女共同参画を考えよう！第5回上益城大会 in やまと」が開催されました。

大阿蘇蘇陽太鼓「喜楽」による力強い太鼓と繊細な笛のハーモニーのオープニング、基調講演では、人吉市の農村レストラン「ひまわり亭」のオーナー本田節さんが「地域づくりは女性の声を」という演題で講演されました。

人吉市にある郷土家庭料理「ひまわり亭」は、「もったいない」をキーワードとし、地域の財産である「おばちゃん・おばあちゃん」の知恵・経験・技・感性、地域

## 男女共同参画社会啓発イベントを開催



講師の本田さんが基調講演を行った啓発イベント

のすばらしい食材、取り壊し寸前の築120年の古民家を「もったいない」と活かし、地域安心・安全な食を提供し、「食」を通して地域づくりへの貢献や食育活動、女性の起業アドバイスにも力を注がれています。

本田さんは、熊本地震の際、南阿蘇の地域づくりの仲間のためにできることをと思い、本震翌日には支援物資を積み込み出発。日ごろのネットワークの大切さと素晴らしさを実感したそうです。そこには老若男女関係なく「できることをできる人がやる」まさしく男女共同参画社会の姿があったそうです。

さらに本田さんは、「女性の声を聴かない企業は潰れる。女性の働く環境を整えない企業は潰れる」という言葉を紹介し、「男女共同参画社会とは、女性の人権を主張する取り組みではなく、性別に関わらず「自己啓発」、「自立（精神的・経済的）」、「地域貢献」そして「生涯現役による自己実現」の先にあるものであり、働くということとは、仕事に限らずボランティアでも「自分自身が納得できること」の追求「だということ忘れてはいけません」と強調しました。

町総務課 ☎ 096-234-1140（内線 222）

## Library Information

### 図書室からのお知らせ

#### ■本の入荷について

図書室では、新刊本や話題の本など、新しい本を入荷しています。

本のリクエストについても、図書室カウンターにて受け付けています。皆さんの読みたい本や気になる本などがありましたら、お知らせください。

また、お探しの本などがありましたら、お気軽にカウンターにご相談ください。

### 消せない過去と向き合うミステリー 柚月 裕子著 / 『慈雨』



集英社  
小説

警察官を定年退職した神場智則は、妻の香代子とお遍路の旅に出た。42年の警察官人生を振り返る旅の途中で、神場は幼女殺害の発生を知り動揺する。16年前、自らも捜査に加わり犯人逮捕に至った事件に酷似していたのだ…。夫婦や家族の愛情、人との絆が丁寧に描かれ、読後、しみじみとした余韻を味わえる長編ミステリーです。

### 良い年を迎えるために読みたい絵本 かんべ あやこ作 / 『開運えほん』



あかね書房  
児童書

「黒豆」を食べるのは、「まめで、元気に暮らせるように」。「羽根つき」は、「厄をはねとばすために」。おせち料理もたこあげも、七草がゆも、日本古来のお正月のさまざまな慣習には、新年が良い年になるよう「開運の願い」が込められています。読めば家族みんなでやってみたくなり、新年を楽しく過ごせるおすすめの本です。

### アメリカが及ぼす影響を徹底解説 池上 彰著 / 『アメリカを見れば世界がわかる』



PHP 研究所  
一般書

「2016年のアメリカ大統領選は、結果がどうなろうと、日本にとってパンドラの箱を開けてしまったのです。日本とアメリカの関係はどうあるべきか、日本はどんな姿勢で外交や防衛に挑むべきなのか、あらためて考える時期が来ています」と、池上氏が超大国アメリカが抱える問題や世界に及ぼす影響について徹底解説したおすすめの本です。

### おばあちゃんの愛がこもった料理集 ガブリエーレ・ガリンバルティ著 / 『世界のおばあちゃん料理』



河出書房新社  
娯楽・教養

世界を旅しながら知り合った、50か国58人の料理上手なおばあちゃんたちの自慢の味を、秘伝のレシピと美しい写真で紹介しています。それぞれの気候風土が育んだ食文化はとて興味深く、おばあちゃんたちの愛情をたっぷり感じるものばかりです。味とともに愛情も受け継がれるジェームズ・ピアード賞(2015年写真部門)を受賞作です。

● 図書室の利用や、図書の検索・リクエストなどについてのお問い合わせ先  
町生涯学習センター図書室  
☎096-234-2447(内線331)

#### 町生涯学習センター図書室のご利用について

■開館時間 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週火曜日、年末年始 ■貸出冊数・期間 1人5冊まで、15日間

## 誰にでも、言い間違えをしたことがあると思います。

私は、言い間違えをしまして恥ずかしい思いをたくさんしました。気を付けようと思っても、つい間違ってしまうことが何度もあります。

今回、私がおすすめる本は、いろいろな人の言い間違えた出来事が詰まっている『金の言いまつがい』という本です。

### 今月の案内人



大嶋 美月さん  
〔町建設課〕

この本には、「クスッ」と笑ってしまうようなエピソードが書いてあったり、「あるある」と思

### ～ My Favorite Story ～

Read This Story!

## 私のおすすめ図書

### 『金の言いまつがい』(糸井 重里著)

言おうとしたことと違ったことを言ってしまう「言いまつがい」だからこそ伝わる焦りや緊張や本音がある。正しい日本語を超えた楽しい日本語を紹介。

うようなエピソードだったりたくさん書いてあります。また、その言い間違えに対して、ツッコミも書いてあり、そのツッコミにまた笑ってしまいます。

それから、いろんな場面ページが分けてあるため、最初のページから順番に読まずに、気になったところから読んでみてもいいかもしれません。

誰が読んでもおもしろい本だと思いますので、ぜひ読んでみ

てください。

ただし、学校の朝読書の時間やバスの中で読むのは控えたほうがいいかもしれません。



● あなたの「おすすめ図書」をご紹介してみませんか？  
町生涯学習センター図書室  
☎096-234-2447(内線331)



## Public Hall

### 町公民館からのお知らせと話題

#### ▶ 公民館主催講座のご案内

##### 「郷土の歴史を訪ねて」

- 開催日時 1月24日(火) 午前9時30分～午後3時40分
- 集合場所 町生涯学習センター
- 行き先 御船町恐竜博物館、上益城消防組合消防本部、木原不動尊参拝
- 参加費 恐竜博物館入館料450円(昼食は各自負担)
- 定員 25人(定員になり次第申し込みを締め切ります)

##### 正月遊び「かるたとり」

- 開催日時 1月21日(土) 午前10時～午前11時
- 会場 町農業研修センター「ろくじ館」
- お申し込み先  
町教育委員会公民館事務局  
☎096-234-2447(内線321)

- 公民館講座や町民大学などに関するお申し込み・お問い合わせ先  
町教育委員会公民館事務局  
☎096-234-2447(内線321)

#### ▶ 出前講座・山出区 「歯周病について」

11月21日(月) 山出公民館で、「歯周病」をテーマに出前講座を開催しました。

講師の町総合保健福祉センターの高倉美保健師が、口腔(こうくう)保健ケアのための基本チェックと知識について説明。高倉保健



▲講師の高倉保健師から歯周病の原因を学ぶ受講生の皆さん

師は、「人は高齢になると歯茎が退縮し、歯の根っこが出てきて歯茎部分が削ら

れることで、歯磨きをするときに磨き不足が生じます。残存菌が増殖し口腔内が不潔となることで、虫歯や歯周病になりやすくなります」と歯周病の原因について解説しました。

また「嚥下(えんげ)障害や誤嚥(ごえん)性肺炎など、重大な病気を引き起こす原因にもなります。今日から早速、口腔ケアを行い口腔疾患の予防をして生活の質を高めましょう」と参加者へ力説しました。

#### ▶ 主催講座・町民大学

##### 万田坑と小袋焼見学

11月30日(水)、公民館主催講座・町民大学を開催し、参加者45人が荒尾市の万田坑と小袋焼窯元の見学を実施しました。

万田坑では、ボランティアから当時の日本の産業の先端技術を集結した機械設備や炭鉱で働く人の厳しさ



▲万田坑(荒尾市)の炭坑跡地を見学する参加者たち

などの説明を受けた参加者は、120有余年前の当時は、脳裏に浮かべていました。小袋焼窯元では、登り窯を見学。参加者は、説明を受けた後、展示場と併設する売店で好みの茶碗や湯飲みなどを購入し、「今夜から早速使いたいです」と話しました。

## Human Rights

### 人権 ～心豊かに暮らすために～

#### ■ 上益城地区社会人権教育研究集会 笑って元気になれる講演会を開催

12月15日(木) 町生涯学習センターで、上益城地区社会人権教育研究集会を開催し、啓発映画「ほんとの空」の上映と、おおいた観光特使の矢野大和さんが「笑って元気～予定通りにいかない人生～」と題し講演しました。

「ほんとの空」は、主人公が身近な人との交流を通して誤解や偏見に気づき、人と深く付き合うことや他者の気持ちを自分のこととして思うことの大切さなどを描いた内容で、

相手を思いやる気持ちを持つことの重要性を参加者に訴えました。



▶講師の矢野大和さんが笑いを交えて講演

講演会では、「自分の話は、笑いを入れることから「講演」を「口演」(口での演説)と言います」という講師の矢野さんが、人権問題を中心

に講演。町役場職員や観光大使など、さまざまな仕事を経験したことや身の回りで起こるエピソードなどを、笑いを交えながら話しました。

矢野さんは、「人生を楽しく元気に過ごすには、笑顔でいることが大切。笑いを通じて人権について考えてきましょう」と参加者に伝えました。

- 人権に関するお問い合わせ先  
町教育委員会社会教育課  
☎096-234-2447(内線324)

# 身体のうるおいと温かさを保って 寒い冬を元気に過ごしましょう

## ◆冬も大切な「温度」と「湿度」のコントロール

夏はジメジメ、冬はカラカラな気候の日本では、湿度は約20%と、のどや鼻の粘膜の働きが弱くなり、またウイルスは気温が低く、乾燥していると活動的になりません。そのため、冬は感染症にかかりやすくなり、温度や湿度の調節や体のうるおいを保つことが予防のためには重要です。

### ●身体のうるおいを保つポイント

①こまめな水分補給  
冬は夏ほど汗をかきませんが、体の表面から水分は失われます。

体内の水分量が低下しないように、こまめに水分を補給しましょう。

### ②マスクの着用

マスクはのどや鼻を冷気から守り、呼吸に含まれる湿気を閉じ込めるため、乾燥から守るために役立ちます。

### ③旬の野菜でうるおい補給

旬の野菜はうまみが多く、おいしいことはもちろん、栄養価もたっぷりです。旬の野菜を摂って、身体の中から健康を目指しましょう。

### ◆お肌のうるおいても上手に保ちましょう

冬になると、皮ふのかゆみに悩む人も少なくないと思います。かゆみは空気が乾燥し、皮ふの水分が失われることが原因です。冬のスキンケアのポイントには、「皮ふを乾燥させないこと」と「皮ふに過度の刺激を与えないこと」です。

### ●日常生活におけるポイント

- ・肌着や衣類は、刺激の少ないものを着用しましょう。
- ・こたつや電気毛布を使い過ぎないようにしましょう。
- ・エアコンを使用するときは、室内を加湿しましょう。
- ・入浴はぬるめのお湯に15分程度つかり、身体を洗うときはたっぷりの泡でなで洗いしましょう。入浴後5分以内に保湿剤を塗るようにしましょう。

### ◆身体の冷えにも要注意

寒さによる体の冷えも体調不良や腰・膝の痛みにつながります。

### ●冷えの原因

#### ①生理現象

寒さを感じると、体内の熱を体外に逃がさないようにするため、末端の血管が収縮し、冷えにつながります。

#### ②血行不良で、熱をうまく運ぶことができない

血行が悪いと、体内でつくられた熱を末端までうまく運ばず、手足に冷えを感じます。

#### ③筋肉量が少なく、十分な熱をつくらせない

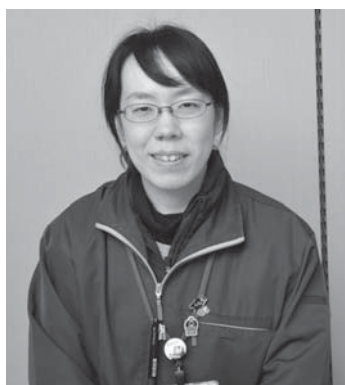
体内の熱エネルギーの約60%は筋肉でつくられます。筋肉量が少ない人や体をあまり動かさない人は十分な熱をつくらせることができません。体の芯から冷えを感じます。

### ◆冬こそ運動をして冷えの改善を目指しましょう

冷えやすい体質は、運動によって改善します。手足が冷えるタイプの人には「血行を促す運動」、体の芯から冷えるタイプの人には「筋力トレーニング」がおすすめです。



このコーナーでは、毎月、町総合保健福祉センター職員である保健師、社会福祉士などが、健康や福祉、介護、健康診査などに関する情報をリレー形式でご紹介します。



今月の「あゆみだより」は  
藤本 佑子 保健師

冬は気温が低く、空気も乾燥して感染症が発生しやすい時期です。原因となる冷えや乾燥から身体を守るためには、こまめな水分補給や保湿はもちろん、ぜひ「あゆみトレーニング室」で運動に取り組んで健康な身体を保ちましょう。

平成28年10月から再開したあゆみトレーニング室では、ストレッチやリズム体操、貯筋トレーニングなどさまざまな運動教室プログラムを行っています。2017年、生活の一部として、ぜひ運動を取り入れてみてください。



## Smile

わが家の“笑顔”をご紹介します



たける  
下原 壮琉 くん (11か月)  
父・武司 さん 母・つぐみ さん  
(北早川区)

お姉ちゃん、お兄ちゃん  
いっしょにあそんでねえ



ゆあ  
松本 優愛 ちゃん (1歳)  
父・圭司 さん 母・美奈子 さん  
(船津区)

これからもニコニコ笑顔で  
元気にすくすく育ててね!

★お子さんの成長の記念として、“笑顔”の写真を『広報こうさ』紙面に飾ってみませんか？写真掲載のお申し込みは、町総合保健福祉センターまで。

●お子さんの“笑顔”の写真掲載に関するお申し込み・お問い合わせ先  
町総合保健福祉センター  
☎096-235-8711

## Child-Care

### 1月の子育て支援カレンダー

#### ○ 甲佐保育園 ☎096-234-0186

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

#### ○ 若草保育園 ☎096-234-0013

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

#### ○ 竜野保育園 ☎096-234-0519

13日(金) 誕生会

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

#### ○ 乙女保育園 ☎096-234-3947

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

#### ○ 緑川保育所 ☎096-234-0789

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

#### ○ 甲佐町子育て支援センター (竜野保育園内) ☎096-234-0305

4日(水)	かるた遊び
6日(金)	こまを回して遊ぼう
11日(水)	お散歩に行こう
13日(金)	お誕生会(要予約)
16日(月)	凧を作ろう
18日(水)	おやつ作り(ぜんざい)
20日(金)	折り紙で遊ぼう
23日(月)	小麦粉粘土遊び
25日(水)	砂場で遊ぼう
27日(金)	指編みをしてみよう
30日(月)	ブロックで遊ぼう

育児相談(電話・面接)  
毎週月～金曜日 午前9時30分～午後4時  
体験保育  
毎週月・水・金曜日 午前9時30分～正午

## 1・2月の保健活動

●会場 町総合保健福祉センター

### + 4か月児健診

1月19日(木) 午前9時

2月16日(木) 午前9時

### + 7か月児健診

1月19日(木) 午前10時

2月16日(木) 午前10時

### + ピカピカ1歳児教室

2月3日(金) 午前9時30分

### + 1歳6か月児健診

2月7日(火) 午後1時

### + すくすく2歳児子育て相談

1月27日(金) 午前9時30分

### + 3歳児健診

2月7日(火) 午後1時20分

### + BCG予防接種

1月17日(火) 午後1時30分

●健康や福祉、介護、健康診断などに関するご相談・お問い合わせ先  
・町総合保健福祉センター  
・町地域包括支援センター  
(町総合保健福祉センター内)  
☎096-235-8711

●行事などに関する詳しい内容は、各園に直接お問い合わせください。



お問い合わせ先一覧

- 町役場  
☎096-234-1111 (代表)
- 町教育委員会  
(町生涯学習センター)  
☎096-234-2447 (代表)
- 町総合保健福祉センター  
☎096-235-8711
- 町水道管理センター  
☎096-234-0755
- 町民センター  
☎096-234-2459
- 町学校給食センター  
☎096-234-0255
- 町老人憩いの家  
(社)甲佐町社会福祉協議会  
☎096-234-0423
- 御船町甲佐町衛生施設組合  
(クリーンセンター)  
☎096-282-0688
- 上益城消防署  
☎096-282-1955
- 御船警察署  
☎096-282-1110
- 上益城広域連合  
☎096-237-2891
- 県上益城地域振興局  
☎096-282-2111
- 県御船保健所  
☎096-282-0016
- 県庁  
☎096-383-1111
- 町へのメールでのお問い合わせ先  
甲佐町公式ウェブサイト  
「お問い合わせメールフォーム」  
URL <http://www.town.kosa.kumamoto.jp/q/sform>

お知らせ

安全・安心な暮らしを守る  
消費生活相談窓口

町では、平成24年から上益城5町の広域連携による消費生活相談窓口を開設し、平成26年度からより身近な相談窓口として専門相談員を配置し、高度な相談にも対応できる相談体制の充実にも努めています。

- ▼ 町民の皆さんの安全・安心な暮らしをサポートするため、今後とも継続的に消費者行政の活性化に取り組み、5町の連携を深めるとともに相談窓口の充実と啓発活動に力を入れていきます。
- ▼ 相談窓口の日程・開設場所  
毎週木曜日  
町老人憩いの家  
☎096・234・3223
- ▼ 相談受付状況  
平成28年度 46件 (平成28

年10月現在)

お問い合わせ先  
町福祉課

☎096・234・1114  
(内線144)

2月16日(木)から  
申告相談が始まります

町では、2月16日(木)から所得税および住民税の申告相談を行います。

申告に必要な書類などの準備をお願いします。

▼ 必要書類

- ・ 収入を証明できるもの
- ・ 給与所得や公的年金のある人は源泉徴収票または支払証明書、事業所得のある人は、必ず収支内訳書を作成してご持参ください。
- ・ 所得から控除する額を確認できるもの

国民健康保険税や介護保険料・後期高齢者医療保険料、国民年金保険料、生命保険料、地震保険料などの支払証明書

など

▼ 申告期間

2月16日(木)～3月15日(水)

詳しい日程は、後日お知らせします。

▼ 会場

町生涯学習センター研修室

▼ 雑損控除を受ける方へ  
熊本地震の影響により、申告期間中は例年よりも大変混雑が予想されます。

雑損控除を受ける方は、熊本東税務署にて雑損控除計算書作成を行った上で確定申告をしていただく必要があります。

必要書類などをご確認いただき、事前に熊本東税務署へお問い合わせの上、申告を行ってください。

なお、雑損控除を受ける方は、1月30日(月)から火の国ハイツ(熊本市東区)で計算書作成および確定申告ができます。ぜひご利用ください。

※世帯の所得状況、地震保険

の保険金を受領された方はその金額などによって雑損控除の申告が必要ない場合もあります。不明な点は、町税務課までご相談ください。

▼ 熊本東税務署の申告期間および会場変更について  
熊本東税務署で受け付けを行っていた申告相談は、混雑が予想されるため、会場を火の国ハイツ(熊本市東区)に変更します。

▼ 震災により被害を受けられた方(雑損控除を受ける方)に対する申告相談

1月30日(月)～2月15日(水)

※土・日曜日を除きます。

通常の確定申告相談

2月16日(木)～3月15日(水)

※2月19日(日)、26日(日)に限り日曜日でも開設します。

受付時間

午前9時～午後4時

受付時間

doctor

日曜当番医

月日	当番医	電話番号
1月1日	谷田病院	☎096-234-1248
1月2日	小屋迫医院	☎096-234-0165
1月3日	桃崎整形外科	☎096-235-8111
1月8日	甲佐眼科	☎096-235-5600
1月15日	荒瀬病院	☎096-234-1161
1月22日	谷田病院	☎096-234-1248
1月29日	桃崎整形外科	☎096-235-8111

tax

町税などの滞納処分(11月分)

種別	件数・金額など
捜索	0件
差し押さえ件数	0点
交付要求	0件
取立・公売代金	30,000円

古きを訪ねて甲佐町を知る

## 甲佐町の文化財探訪 ～第40回～

「中山・錦川遺跡」赤星真照 町文化財保護委員（有安区）

乙女地区に中山・錦川遺跡がある。



今は埋め戻してあるが、10年ほど前に遺跡調査が行われている。掘り進んでいくと、縄文時代まで遡るだろうとの話であった。現在から6400年前の遺構。

この時代は、現在よりずっと温暖であったらしい。当然、海岸線も今よりずっと内陸部であった。

この遺跡で発見されたものは、竪穴住居5軒、溝遺構1条、土杭3基。土師器、須恵器、縄文土器、石製品（石斧、石槍など）、住居跡。

この時代、家は寝る場所であって、台所は、外であった。熱く焼いた石の上に、食べ物をのせ蒸し焼きする。家の中にあるというのは珍しいそうである。

乙女のこの場所に、6000年以上昔に人が暮らしていたのである。

過去の遺跡を見ると、私は、悠久の歴史の中では、砂のような存在でしかない。一握りどころか、一粒の粒子でしかない。いつの時代にあっても喜び、悲しみ、怒り、苦しみがあったに違いない。そして私たちの祖先は、それを乗り越えてきたのであろう。



地層から歴史がうかがえる

■お問い合わせ先 町教育委員会社会教育課 ☎096-234-2447（内線322）

- ・申告会場  
火の国ハイツ（熊本市東区）  
※今回は熊本東税務署での申告相談は実施されませんので、ご注意ください。
- ▼お問い合わせ先  
町税務課  
☎096・234・1112  
（内線115）  
熊本東税務署

☎096・369・5566  
償却資産の申告書提出は1月31日（火）までに  
法人や個人において、工場・商店・農業などの経営をしている人や、不動産業で駐車場やアパートなどを貸し付けている人が、その事業のために所有する構築物、機械、

器具、備品などを償却資産と言います。固定資産税が課税されます。  
1月1日（日）現在で償却資産を有する人は、1月31日（火）までに資産の種類・取得価格を記載した申告書を町税務課まで提出してください。※10キロワット以上の太陽光発電施設も固定資産税の対象となる

- ▼平成28年度寄附金額合計  
6,118,000円  
（平成28年12月15日現在）
- ▼お申し込み・お問い合わせ先  
町総務課  
☎096・234・1140  
（内線224）
- ▼ご寄付いただいた皆様  
お名前 ご住所  
・金岡 伸治様 兵庫県  
・松本 洋介様 東京都  
・山本 洋子様 益城町  
ほか13名様

## お礼

### ふるさと甲佐応援寄附金

「ふるさと甲佐応援寄附金」にご協力いただき、誠にありがとうございました。

町では、心温まるご好意を町の振興のために大切に使用させていただきます。引き続き、多くの皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

- りますので申告が必要です。
- ▼申告書の提出期限  
1月31日（火）
- ▼提出・お問い合わせ先  
町税務課  
☎096・234・1112  
（内線112）

### environmental preservation

## クリーンセンターへのごみ直接搬入について

災害により稼働停止していたクリーンセンターについては、7月25日（月）から通常どおりの稼働を行っています。ごみの直接搬入は通常有料ですが、事前に町に申請すると処分料が免除されます。印かん、身分証、罹災（りさい）証明書をご準備の上、町環境衛生課で申請してください。

■お問い合わせ先 町環境衛生課 ☎096-234-1169（内線251）

### traffic safety

## 交通事故件数

種別	発生件数	前年比較
事故件数	20	(2)
死者	0	(0)
傷者	26	(4)

平成28年12月15日現在（カッコ内は前年比較）

### fire prevention

## 出動火災件数

種別	発生件数	前年比較
家屋	1	(0)
原野	0	(△1)
その他	0	(0)
合計件数	1	(△1)

平成28年12月15日現在（カッコ内は前年比較）

# お知らせ

## 被災された後期高齢者医療保険被保険者の方へ

熊本地震で被災した後期高齢者医療被保険者の方が一定の要件に該当する場合、平成28年度の後期高齢者医療保険料の減免や医療機関などでの窓口負担（一部負担金）の免除を受けることができます。

保険料の減免や医療費の免除（一部負担金免除証明書の交付）には申請が必要です。で、該当される方で申請が済んでいない方は、町民生活課で手続きをお願いします。

▼減免などの対象となる方  
後期高齢者医療被保険者で、罹災証明書で住家が全半壊と判定された方

- ▼申請に必要なもの
- ・罹災証明書（全半壊と判定されたもの）
  - ・被保険者証
  - ・印かん
  - ・通帳

▼保険料の減免申請期限  
平成29年4月13日（木）

詳しくは、町民生活課までお問い合わせください。

▼お問い合わせ先  
町民生活課

☎096・234・1113  
(内線105)

## 児童手当受給の申請は忘れずに行ってください

児童手当は、中学校卒業（15歳の誕生日後の最初の3月31日）までの児童を養育している人に支給されます。

出生日や転入した日（異動日）が月末に近い場合、申請月が翌月になっても異動日の翌月から15日以内であれば申請月分から支給します。

### ▼支給月額

- ・0〜3歳未満  
1万5,000円
- ・3歳〜小学校修了前の第1・2子  
1万円
- ・3歳〜小学校修了前の第3子以降  
1万5,000円
- ・中学生  
1万円

### ▼支給時期

原則として毎年6、10、2月に手当を支給します。

### ▼申請に必要なもの

- ・印かん
- ・受給者および対象児童の健康保険証
- ・受給者名義の預金通帳
- ・受給者のマイナンバー通知カード

▼お申込・お問い合わせ先  
町福祉課

☎096・234・1114  
(内線145)

## 子ども医療費の県内医療機関窓口現物支給について

平成28年度実施予定の子ども医療費の県内医療機関窓口での現物支給（一部負担金の無料化）については、町コンピュータシステム更新などの理由により、平成29年4月から実施します。

受給者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

### ▼お問い合わせ先

町福祉課  
☎096・234・1114  
(内線146)

## 町定住促進要綱を改正しました

町では、活力あるまちづくりを目指し、豊かでゆとりのある住環境整備を図るため町独自の制度である「甲佐町定住促進要綱」に基づき、土地を取得し住宅建設を行った個人に助成金を支給しています。

この度、熊本地震の影響による町外への人口の流出や少子高齢化・核家族化傾向による人口減少に歯止めをかける

topics

## 熊本地震からの復旧・復興を目指す本町へのあたたかいご支援ありがとうございます

本町では、熊本地震災直後から全国の団体職員の皆様に支援をいただきました。

今回本町へ派遣されご支援をいただいた団体や自治体職員の皆様をご紹介します（平成28年12月末現在）。

### ●支援をいただいた団体

内閣府、国土交通省、農林水産省、広島県、愛媛県、高知県、香川県、鹿児島県、富士宮市、唐津市、えびの市、枕崎市、鹿屋市、鹿児島市、霧島市、南さつま市、出水市、日南市、指宿市、南九州市、始良市、伊佐市、薩摩川内市、日置市、曾於市、熊本県、天草市、上天草市、長島町、芦北町、錦町、宮崎県産業開発青年隊、熊本県土地改良事業団体連合会、日本看護協会、（独行）国立病院機構医療センター、陸上自衛隊



◀ 役場玄関において支援いただいた団体様を紹介しています

▶お問い合わせ先  
町総務課 ☎096-234-1140（内線221）

## 第15回会長杯 ビーチボールバレー大会

### ■フリーの部（参加7チーム）

- ・優勝 スウィートフィッシュ（上豊内）
- ・準優勝 シャンクス（豊内）
- ・3位 スーパー仁（仁田子）、ヒーローズ（白旗）



### ■50歳以上の部（参加3チーム）

- ・優勝 横田
- ・準優勝 上早川ファイヤーズ
- ・3位 よかばい（船津）



- 主催・甲佐町ビーチボールバレー協会（坂本敏博会長）
- 期日・平成28年11月8日（火）
- 会場・甲佐中学校体育館

## 甲佐町総合型地域スポーツクラブ 「I・YOU スポーツクラブ」 1月のアユスポ・カレンダー

**少年柔道**  
長友 健二郎くん（下横田区）  
柔道楽しいよ♪  
みんなも一緒に柔道やろう（^^）

### ●スポンジテニス&バドミントン

甲佐小体育館 月曜日 午後7時30分

### ●少年柔道

甲佐中武道館「甲心館」  
月・水・金曜日 午後7時

### ●卓球

町生涯学習センター  
水・金曜日 午後7時30分

### ●サッカー教室

甲佐中グラウンド 木曜日 午後7時  
甲佐小グラウンド 土曜日 午前9時

### ●バスケットボール教室

甲佐中体育館 火曜日 午後8時

■お問い合わせ先  
I・YOU(アユ)スポーツクラブ事務局  
(町教育委員会社会教育課内)  
TEL 096-234-2447(内線325)

**身体障がい者職業訓練生を募集しています**  
県立高等技術専門学校では、身体障がい者ソフトウェア開

## 募集

▼お問い合わせ先  
町企画課  
TEL 096・234・1154  
(内線232)

▼お問い合わせ先  
熊本県立高等技術専門学校  
TEL 096・378・0121

▼募集期日  
1月20日（金）まで  
▼募集期日  
受講料は不要  
※教材費が約5万3,000円（2年間）掛かります。  
詳しくは、お問い合わせください。

①必ず止まってから通報してください。  
②通報場所を正確に伝えてください。

110番通報する際は、「何があったのか（事件か、事故か）、いつ（今か、何時ごろか）、どこで（〇〇町の△△で）、犯人の人相、着衣、逃走方向車、「被害の状況、被害品」、「あなたの住所、氏名、電話番号」などを、落ち着いて係員に話してください。

○警察相談電話  
TEL 096・383・9110  
TEL #9110  
▼お問い合わせ先  
御船地区防犯協会連合会（御船警察署内）  
TEL 096・282・1110

○管轄の警察署・駐在所  
御船警察署  
TEL 096・282・1110  
甲佐駐在所  
TEL 096・234・0021  
白旗駐在所  
TEL 096・234・1775

ために、これまで以上に安心して住み続けられる、住みたくなる住環境を整備するため要綱を改正しました。  
新要綱では、以前から助成対象となっていた町承認団地購入に加えて、多世代住宅建設や贈与による土地取得、自己所有の土地への住宅建設も対象となりました。

発訓練生を募集しています。就職に必要な技術を習得しませんか。  
▼応募資格  
身体障害者手帳をお持ちの方でハローワークに求職の申し込みをし、高校卒業（卒業見込みを含む）と同等以上の能力を有した人で、特別な会場を必要としないこと

## くらし安全

年末年始における犯罪や交通事故を防止しましょう

110番は、緊急通報専用電話です。  
110番通報する際は、「何があったのか（事件か、事故か）、いつ（今か、何時ごろか）、どこで（〇〇町の△△で）、犯人の人相、着衣、逃走方向車、「被害の状況、被害品」、「あなたの住所、氏名、電話番号」などを、落ち着いて係員に話してください。

さい。県境付近では、隣県警察につながる場合があります。  
③通話終了後は、しばらく電源を切らないでください。110番センターから、不明な点をお尋ねする場合があります。  
緊急事件・事故以外の用件は、管轄の警察署や交番・駐在所、警察相談電話をご利用ください。  
▼緊急事件・事故以外のご相談先  
○管轄の警察署・駐在所  
御船警察署  
TEL 096・282・1110  
甲佐駐在所  
TEL 096・234・0021  
白旗駐在所  
TEL 096・234・1775

## 町生涯学習センター・ギャラリーモール展のお知らせ ～1月～

### ●全国学校給食週間に係る作品展示

- ▶期間 1月13日（金）～2月3日（金）
- ▶内容 町内の小・中学生や松橋西支援学校上益城文教室生徒による学校給食に関する絵画、作文、標語
- ▶主催 町教育委員会



12月の展示会  
「平成28年人権週間」  
「人権の展示場」



平成28年12月7日（日）第46回町駅伝競走大会のフィニッシュ地点（町役場前）

うたごよみ 睦月

「短歌」

渡辺幸士 選

大会に集いし剣士少年の顔は凛々しく逞しく  
見ゆ 池田キヨ子

老いること忘れし友は華やぎて蝶のごとくに  
しなやかに舞う 塚原 暁益

秋日和柿むきながら思い出し亡夫の好物干し  
柿つくる 赤星 文子

半年も修理にかかりし温泉で身体と心ともに  
癒さる 緒方 明美

猛暑にも負けず咲きたる「百日紅」散れば狭  
庭に秋草芽吹く 内田乃武子

剪定の済みし狭庭は明かるみて庭の来客じよ  
うびたき様 塚本 俊子

霜月に初雪のごと霜おりて一面白き朝を迎ゆ  
る 上村やす美

被災して障壁もなく我が家の更地広々遠くま  
で見ゆ 吉永由紀子

草を刈る草刈り鎌の刃の先に黒くて長き鳥の  
羽根落つ 上村 かず

艶やかに葉の裏に咲く山茶花は風情豊かにハ  
ラハラと散る 赤星 延子

こころ重く「運命」聞けば押し寄せる分厚き  
音が吾を揺さぶる 渡辺 幸士

「川柳」

渡辺幸士 選

「自信」

初めての一人旅する自信あり 安浪 アキ  
自信無く幸せも無くわれ独り 三芳 嘉逸  
自信などないよと自作自慢する 日隈 俊郎  
釣れる場所自信を持って連れて行く 林 雅之

「幸せ」

朝日浴び川柳作る幸せよ 布田 愛子  
幸せはふつくら白い飯食べる 清川みどり  
楽しいよ歌と踊りで笑わせる 森田千鶴子  
幸せは一日無事に過ごすとき 古閑チヨミ  
趣味の会わたしを若くしてくれる 渡辺 幸士

「肥後狂句」

北川直美 選

舞い込うだ 地震保険の太かった 広田みどり  
舞い込うだ 招待旅行良かチャンス 下山 千恵  
舞い込うだ がまだし者ンのか嫁ご 志垣 光  
舞い込うだ 不幸ばかりと思つてた 佐藤 葵  
舞い込うだ 酒杯の花も一気呑み 布田かんな  
舞い込うだ 初夢前にいい思い 平井やよい  
舞い込うだ 見捨てちゃおらん福の神 長原 産賀  
舞い込うだ そうそう無かぞ玉の輿 佐野しょう  
舞い込うだ 儲け話に耳ダンボ 光永 六  
舞い込うだ 紙飛行機はラフレター 井元あざみ  
舞い込うだ 嬉しい知らせ次々と 日高 美里  
舞い込うだ 蚊のブンブンで目エ覚まし 上田 梅清  
舞い込うだ 蝶の図鑑と睨めっこ 北川 直美

お問い合わせ先 町教育委員会公民館事務局  
096・234・2447（内線321）

# ひとの動き (敬称略)

11月11日(金)~12月10日(土)

## birth お誕生おめでとう

住所	氏名	性別	保護者
白旗	新改 遥華	女	学
豊内	甲斐 柚妃	女	元 貴
中横田	宇土 凛太郎	男	大志郎
下横田	福永 煌琉	女	浩 紀
田口	遠山 葵	女	彰

## marriage ご結婚おめでとう

	住所	氏名
夫	船津	北野 裕大
妻	熊本市	米澤 早織
夫	熊本市	林 伸弥
妻	有安	渡邊華奈子
夫	下横田	溜瀨 臣治
妻	美里町	井芹 侑奈

## condolence お悔やみ申し上げます

住所	氏名	年齢	世帯主
糸田	井芹 忍	86	忍
上早川	池田 ツル	88	ツル
仁田子	佐藤 義治	101	征 子
小鹿	井上 俊喜	62	みさお
豊内	藤田 初枝	91	初 枝
岩下	田添トシ江	100	トシ江
坂谷	光永 公一	72	アキエ
豊内	嶋津 敬明	48	洋 子
上早川	溜瀨 治之	86	勝
西寒野	遠山 悟	87	繁 子
上早川	溜瀨ミツエ	86	勝
西寒野	永野ミツ子	89	ミツ子
吉田	石坂 春子	83	忠 義

data 甲佐町の人口・世帯数		
項目	数	増減
男	5,182	△2
女	5,808	△8
計	10,990	△10
世帯数	4,313	1

平成28年11月30日現在



# こうさの野菜で作ってみよう!

レシピ提供：料理研究家 沼田峰子さん（北原区）

## お正月のゆず大根

### ご存知ですか？

大根には、辛味成分アリルイソチオシアネートが含まれており、おろし大根にして食べると抗がん作用や抗菌作用があると言われています。

年末からお正月にかけて、食べたり飲んだりする機会が多くなる時に消化を助け、胃酸過多、胃もたれや胸やけなどに効果がある大根を食べましょう。



### 材 料 (4人分)

- 大根……………約500g
- 塩……………小さじ1
- ゆず……………大1個
- 昆布……………5g×5gを1枚
- 唐辛子……………少しだけ
- 砂糖……………大さじ3~4
- 塩……………小さじ2分の1
- 酢……………適宜

### 作り方

- ①大根は皮をむき3~4mmの厚さの半月切りにします。大根が太いときは、いちよう切りにすると良いでしょう。
- ②大根に塩を振り、しんなりするまで待ちます。
- ③計量カップにゆずを絞ります。3分の1カップになるまで酢を足してください。
- ④砂糖、塩、水を③の計量カップの目盛りが3分の2になるまで加え混ぜ合わせます。
- ⑤ゆずの皮のきれいで黄色い部分を千切り、昆布もはさみでできるだけ細切りにしておきます。
- ⑥保存容器に水を切り絞った②と④⑤を入れて混ぜ合わせます。好みで唐辛子を加え、冷蔵庫で保存します。

※捨てるところのない大根は、葉の部分にビタミンCをはじめとした栄養がたっぷり含まれています。ぜひ葉も一緒に食べましょう。

## 編集後記

今月号から昨年4月の熊本地震、6月の豪雨災害を振り返る新連載が始まりました。今回は、災害の概要や被害状況、対応状況などをまとめていきます。

阪神淡路大震災や東日本大震災、九州北部豪雨など、日本では大きな災害が数多く発生しています。災害はいつどこで起こるか分からないので防ぐことは難しいですが、過去の災害を記録に残しておくことで、備えることはできます。「いつ、どこで、何があったのか」ということが問題になったのか、などを、たくさんの方が共有することで、今後大きな災害が発生したときに何をすべきかが見え、数多くの大切な命を守ることもつながるかもしれません。

子や孫の代まで私たちの記憶を伝えることができるよう、これから実りのある連載企画を考えていきます。(み)



吉富 力良さん  
Yoshitomi Chikara

〔和市内区〕

よしとみ ちから / 和市内区出身のフランス料理人。フランスで開催されたフランス料理の前菜・パテアンクルート世界大会で準優勝に輝いた。

## ふるさとへの明るい未来を願い 感動と幸せを味わえる料理を

「おいしい料理は、人を感動させる力があると思います。人を感動させることができるものをつくることのできるの仕事は、私の天職です」と話すのは、フランス料理人の吉富力良さん(和市内区出身)。

高校卒業後、かねてから興味があったフランス料理を究めるために、熊本市や東京で修業。23歳のときに単身でフランスに渡り、現在はパリの3つ星レストラン「ランブロワジー」で腕を磨く。

昨年、同国で開催された「パテアンクルート」の世界大会に出場した吉富さんは、唯一の日本人でフランス代表として挑み、見事準優勝で世界2位に輝いた。

パテアンクルートは、ジビエやフォアグラなどのパテをパイ生地で包んで焼いたもの。とても手間が掛かるため料理人の技量が問われる、フランス料理の伝統的な前菜のひとつ。

「毎日仕事で忙しい中、休みを削って、自分自身に克つために練習に励みました」と吉富さん。「見た目が重視される料理ですが、それに加えてどうしたらおいしくなるかを追求しました。必要な食材を厳選し、研ぎ澄まされた味を目指して調理しました」と、大会を振り返る。

昨夏に一時帰国した際、熊本地震の影響で実家が全壊し解体したことを知った吉富さん。「言葉では表せない衝撃を受けました。だからこそ、家族やその周りの人たちが元気になれるように、明るいニュースを届けたいと大会に挑みました」と語る。

将来は、「フランスで自分の料理を食べてもらって感動を与えることができる環境を作りたい」と吉富さん。「いろんな場所に行きましたが、慣れ親しんだ風景や人々がいる生まれ故郷の甲佐町が1番大好きです。その甲佐町の皆さんに、自分のことを誇りに思ってくれるような料理人になりたいです」と輝く未来を目指して厨房に立つ。

## 広報 こうさ

2017年(平成29年) 1月号  
通巻570号